

年度 2006 学期 後期	曜日・校時 金 2	必修選択 選択	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	生体の構造(人類学入門) / Structural and Molecular Biology (Intoroduction to Physical Anthropology)		
対象年次 1・2年次生	講義形態 講義	教室 102番教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー	六反田篤 / roku@nagasaki-u.ac.jp / 顎顔面解剖学 / 月～金、16:15～17:45		
担当教員(オムニバス科目等)	加藤克知 / k-katou@nagasaki-u.ac.jp 真鍋義孝 / manabe@nagasaki-u.ac.jp		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: 人類の進化、形質の変化、地理的変異の概念について理解させる。</p> <p>授業方法: オムニバス方式で講義を行なう。教室作成の冊子を配付する。適宜、プリント、スライド等を使用する。</p> <p>授業到達目標: (1) 人類進化の概略について説明できる。(2) 直立二足歩行の起源とその意義を説明できる。(3) 日本人の起源について説明できる。(4) ミトコンドリア DNA とミトコンドリア・イブについて説明できる。(5) 脊椎動物の進化について概略説明ができる。(6) 身体変工の種類について概略説明ができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業内容(概要) 人類はアフリカに誕生し、世界各地に適応放散し現在に至った。脊椎動物の進化、ヒトの進化過程、その様相・要因や、風俗、奇習としての身体変工について講義する</p> <p>授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回目 人類学とは、人類学分野のトピックス 第2回目 人類進化概説・猿人から新人(解剖学的現代人)まで 第3回目 人種の形成、アジア人の誕生 第4回目 日本人の起源に関する諸説 第5回目 あなたは渡来系形質を持つか 第6回目 脊椎動物における歯の進化 第7回目 世界全体から見た現代人の歯の形態の地域的変異 第8回目 歯の形態から見た日本人・台湾原住民の起源 第9回目 歯の形質から見た環太平洋住民 第10回目 歯の形質人類学の海外調査の実態 第11回目 風俗や習慣としての生体への人為的操作を加える「身体変工」の種類と方法 第12回目 死体に人為的操作を加えて一種の永久死体を作る「ミイラ」づくりの科学的考察 第13回目 骨形態の人種差 第14回目 海外調査の面白味 第15回目 総括</p>			
キーワード	人類の進化、人種、ミトコンドリア DNA、日本人の起源		
教科書・教材・参考書	人類700万年進化の旅(教室作成編) 歯と顎の進化(教室作成編)		
成績評価の方法・基準等	後期試験期間中にレポートによる試験(100%)を行う。成績が100点満点中60点以上の者を合格とする。		
受講要件(履修条件)	講義は毎回出席し、ノートを取ることを。質問は随時受け付けるが、オフィスパワーでも受け付ける。メールで面談の時間調整を行なって下さい。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	人類の多様性とその起源と進化、変遷について理解を深め、問題解決能力を育成することを目的とする。		
備考(準備学習等)	教科書、参考書などで十分に予習を行なっておくこと。		